

注意：アプリケーションから直接 USB ドライブに保存しないでください

Word や Excel® 等のアプリケーションで文書を作成し、直接 USB ドライブに保存すると、暗号化処理が実行されますが、ファイルは Word や Excel にロックされているため暗号化できません。暗号化処理状況を示す画面が表示されたままになり、アプリケーションを終了するまで暗号化できません。アプリケーションによっては暗号化できない場合があるため、アプリケーションから直接 USB ドライブに保存せずに、別の場所に保存してからエクスプローラ等でコピーしてください。

一時フォルダーについて

暗号化処理中は、USB メモリにコピー・移動されたファイルを一時フォルダーに待避しています。暗号化のキャンセルやエラー時には、ここからファイルを取り出すことができます。なお、正しく暗号化が行われた場合、一時フォルダーは削除されます。

- 一時フォルダーは次の場所に作成されます

[ユーザープロファイル]¥ SpusbEnc¥ [日付]-[時間]

※ 作成から 30 日を経過すると、自動的にフォルダーごと削除されます。ただし、フォルダー名が変更された場合は、自動的に削除されません。

[例] C:¥Users¥ユーザー名¥SpusbEnc¥110602-200719

- 一時ファイルは、元ファイル名で作成されます

- 一時ファイル名が重複する場合は、ファイル名末尾に連番を付与します。

[例] test.txt → test(1).txt

- 元ファイル名が長く一時領域で処理できない場合の一時ファイル名は、自動的にカットされます。

[例] XXX・・・testfile.txt → XXX・・・test.txt

- 一時フォルダーは次の方法で開くことができます

ツールパレットで [オプション] をクリックし、表示された [オプション] 画面の [USB 暗号化] シートで [一時フォルダーを開く] をクリックします。

5.2. 暗号化ファイル (*.spuj) を利用する

USB メモリ内の暗号化ファイル (*.spuj) は、元ファイルに関連付けられたアプリケーションで開いたり、編集したりすることができます。

暗号化ファイルを開くには、Tri-De DataProtect が必要です。Tri-De DataProtect がない環境で開きたい場合は、復号ツールを利用します。

→ 補足：Tri-De DataProtect がない環境で暗号化ファイルを開く